



週報

Rotary
OITA JOSAI,2720



会長 石橋春明
幹事 園田哲史

国際ロータリー会長
オンラインカ・ハキーム・パバロラ
第 2720 地区ガバナー
延岡 研一
大分第 4G ガバナー補佐
植山 朋代
地区スローガン



持続可能な
インパクトを
生み出そう

大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン

「人をつなぎ、未来へ 確かなインパクトを！」

ロータリーが〇〇をつなぐ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	8月19日					例会日	水曜日 12:30~13:30	編集担当	8月	神野寛明
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター		例会場		9月	眞上 晋
	28名	22名	81.48%	1名	0名		ホームページ http://oitajosairotaryclub.com		10月	中村智美

事務局 〒870-0021 大分市府内町キハ会館 4 階 TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386 Eメール oitajosairo@mist.ocn.ne.jp

2026-2027	第 7 回例会	8 月 26 日	No.1637	会員増強・新クラブ結成推進月間
-----------	---------	----------	---------	-----------------

◆本日のプログラム			◆職業奉仕3分スピーチ	
	18:30	点鐘		本日はありません
		ロータリーソング「四つのテスト」		(今後の予定)
		ゲスト・ビジターの紹介		9/9 中村会員 10/28 神野会員
		会長の時間		
		出席報告及び幹事報告		
		ロータリー情報		
		委員会報告		
		スマイルボックス		
	19:00	ケニア学童用机・椅子セット贈呈式		
◆今後の例会予定			◆今週のロータリーソング 「四つのテスト」	
	●9月2日	窪田奈津美さん((株)オレンジコネク代表取締役)の卓話/シャレンさん壮行会		真実か どうか みんなに 公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか
	●9月9日	ゲスト卓話		
	●9月16日	職場例会(葵会館住吉斎場)12:00 集合		
	●9月23日	定款第7条第1節に基づき例会取りやめ		
	●9月30日	全員協議会(地区補助金について)		
◆今週のお祝い (8月26日)				
		●創立記念日		
		伊藤秀海会員(福)庄内厚生館 S21年9月1日		
		神野寛明会員(有)神野マイカー S45年9月		

◆ゲスト・ビジターの紹介 (8月19日)	
●ゲスト エリシモ, シャレン グラシエラ さん (米山奨学生)	●ビジター なし

◆スマイルボックス(8月19日)

芳崎一郎会員 (10口)

令和8年熊本地震の復興支援に関して皆様より多くの支援物資を被災地にいち早く届けることが出来ました。
急な呼びかけにも関わらず、大分第4グループ、大分第3グループの会員の皆様より、一日でトラック9台分の支援物資を持って来ていただき重ねて感謝申し上げます。
改めてロータリーの絆の大きさに感動いたしました。本当にありがとうございました。
我が城西ロータリークラブの皆様からも多くの支援物資をいただきました。
皆様のお気持ちに感謝いたしまして10口スマイルいたします。

◆幹事報告(8月19日) 幹事 園田哲史

- ・ 地区より、2026～2027年度RLJ(ロータリー・リーダーシップ研究会)スケジュールのお知らせとRLJパートI開催のご案内が届いております。本日回覧しておりますので、参加ご希望の方は申込書にご記入をお願いします。

RLJパートI 日時:2026年9月26日(土)13:00～17:30(受付12:30)

9月27日(日)9:15～12:00(受付9:00)

場所:熊本市国際交流会館(熊本市中央区花畑町4-18)

懇親会 日時:9月26日(土)18:30～(中締め20:30)

場所:花畑御殿「城見櫓」(熊本市中央区花畑町1-10長堀前)

対象者 ガバナー補佐、会長、幹事、会長エレクト、会長ノミニ、幹事エレクト、
クラブ各委員長、地区出向者、クラブ希望者

参加費 3,000円/会員1名につき

(参加費1,500円、最新版2025～27参加者テキスト代1,500円)

懇親会費 10,000円/会員1名につき

<今後のRLJ>

RLJパートII 2026年11月7日(土)9:00～17:00(大分市コンパイルホール)

RLJパートIII 2027年2月27日(土)13:00～17:00(未定:熊本市内)

2月28日(日)9:15～12:00

卒後コース 2027年4月24日(土)13:00～18:00(未定:日田市内)

◆委嘱状授与

国際ロータリー第2720地区 2027～2028年度 地区幹事	伊藤秀海 会員
〃 地区副幹事	佐藤憲幸 会員
〃 〃	眞上 晋 会員
〃 〃	寺崎直史 会員
〃 〃	衛藤祐介 会員
〃 〃	河野浩二 会員
〃 地区社会奉仕部門長	吉岡尚美 会員



◆委員会報告

◆大分城西ロータリークラブ ゴルフ練習会 親睦リーダー 二宮浩司会員

日時:2026年10月25日(日) 8時40分集合(クラブハウス前)

会場:大分カンントリークラブ 月形コース

スタート時刻:9:13スタート

11月22日(日)の大分第4グループ親睦ゴルフコンペの前に、みんなで練習ラウンドいきましょう！

◆米山奨学生 挨拶 エリシモ、シャレン グラシエラ さん

皆さまこんにちは。報告があります。ついに東京の会社から内定をもらいました。

今は3つの会社の選考がかなり進んでいます。

今のところは、私の第一希望は東京のマーケティング会社です。

私のこれまでの経験から、これからやりたいことに一番合っていると感じているからです。

だから、その会社からいい結果が来ることを願っています。



◆国際奉仕報告 武居光雄会員

武居会員より、現在取り組んでいるウクライナ支援の最新状況について報告がありました。

1. ウクライナ支援のフェーズ転換

当初は「リハビリテーション支援」が中心でした。しかし先々月より支援内容が“戦後復興”へと本格的に移行しています。

特に深刻なのは教育の停滞で、7年間教育が止まっている状況とのこと。

2. 日本の教育モデルを導入したいという要請

「日本の教育モデルをそのままウクライナに導入したい」という強い意志が示されたとのこと。

3. 仙台育英との連携の可能性

同校の理事長が「日本ウクライナ友好協会」をロータリークラブとして設立しているとの情報を共有しました。

今後、ロータリーとして連携できる可能性があるとの期待が述べられました。

4. JICAによる支援と今後の課題

緊急予算(4億円)がウクライナ支援に充てられ、その一部が教育支援に回っています。ただしJICA支援は1年で終了予定であり、その後は民間委託に移行します。

ケニア教育支援で既に民間委託事業を実施しており、ウクライナでも同様の民間レベルの継続支援を開始したいと述べました。

5. ロータリーへの期待

ロータリーが掲げる「平和の推進」という理念に照らし、より俯瞰的で、リアルタイムな国際支援の姿勢が必要ではないかと問題提起しました。

- ウクライナの深刻なPTSD問題
- 子どもたちの教育崩壊
- 戦時下での生活困難など、報道されない現実を共有し、ロータリーとしての関与を呼びかけました。

6. 最後に

「これは強制ではなく、客観的に見て必要な支援だと感じている」と述べ、来週からケニア出張に入るため、現地からも状況を共有する旨を報告して締めくくりました。



本日は、京都の奥座敷・貴船(きふね)の深い森の中に鎮座する、水の神様の総本宮「貴船神社」についてお話しさせていただきます。

画面に映し出されているのは、貴船神社を象徴する参道の石段です。朱塗りの灯笼が続くこの神秘的な光景を、一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

貴船神社は、古くから「気生根(きふね)」とも書かれ、「気」つまり万物のエネルギーが生ずる根源の地として崇められてきました。本日は、この地に眠る歴史、ゆかりの大歌人、息をのむ絶景やお祭り、そして人気の御朱印について、4つの映像とともにご案内いたします。

貴船神社の歴史は非常に古く、社伝によると1300年以上前の創建とされています。祀られている主祭神は「タカオカミノカミ」という水の供給を司る龍神様です。太古より人々の命の源である清流を守り続けてきました。



実は、皆さんが神社で願い事を書く「絵馬(えま)」の発祥も、この貴船神社だといわれています。平安時代、日照りの時には恵みの雨を祈って「黒い生きた馬」を、長雨を止めてほしい時には「白い生きた馬」を献上していました。やがてそれが、板に描いた馬の絵で代用されるようになり、現代の絵馬へと変化していったということです。

また、貴船神社を語る上で欠かせない人物が、平安時代の女流歌人・和泉式部(いずみしきぶ)です。夫の心が自分から離れてしまったことに深く思い悩んだ和泉式部は、復縁を祈って貴船神社に参拝しました。そして参

道に飛ぶ螢を見て、自身の切ない恋心を『物思へば 沢の螢も 我が身よりあかれ出づる 魂(たま)かとぞ見る』と詠み上げます。

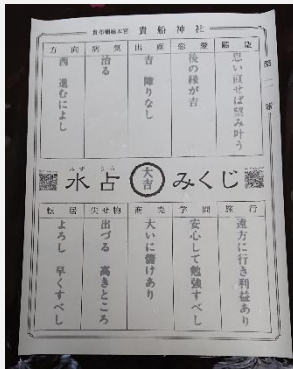
神様への切実な祈りが通じたのか、彼女は無事に夫の愛を取り戻すことができたそうです。この逸話から、貴船神社の中宮である「結社(ゆいのおしろ)」は、現在も絶大な人気を誇る縁結びの聖地となっています。

貴船神社の魅力は、自然と調和した美しい景色にもあります。

春の新緑、秋の眩しい紅葉、冬の積雪日限定のライトアップなど、一年を通して幻想的な姿を見せてくれますが、特に有名なのが夏の風物詩「川床(かわどこ)」です。貴船川の清流のすぐ真上に座敷が設けられ、青々とした木漏れ日と川のせせらぎの中で過ごす時間は、まさに至福の涼です。



また、お祭事も水の神社ならではの伝統を誇ります。毎年6月1日には、街中を神輿が巡行する盛大な「貴船祭」が行われます。そして7月7日には、水への感謝を捧げる「水まつり」が開催されます。神前にて生け花や茶道の奉納が行われ、境内は優雅で格調高い雰囲気包まれます。



参拝の際にぜひ体験していただきたいのが、貴船神社名物の「水占(みずうら)みくじ」です。

一見すると何も書かれていないただの白い紙ですが、境内の山から湧き出る霊泉(御神水)の上にそっと浮かべると、画面のように文字がじわじわと浮かび上がってきます。水神様のお告げを肌で感じられる、とても神秘的なおみくじです。

そして参拝の証である「御朱印」には、清らかな水流を思わせる力強い墨書きとともに、「貴船神社」の朱印が捺されます。水神様の御神徳が込められた御朱印や、神馬や清流がデザイン

されたオリジナルの御朱印帳は、持ち帰った後も貴船の清らかな気を届けてくれます。

京都の奥深い森に抱かれた貴船神社は、古来より人々の渴きを潤し、傷ついた心を癒やし、新たなエネルギー「気」を与え続けてきた場所です。

日々の喧騒から少し離れ、心と身体をリフレッシュしたい時には、ぜひ貴船の清流と豊かな自然に会いに行ってみてください。



◆今日の卓話 全員協議会 「会員増強について」

◆増強ディスカッション

会員増強のきっかけづくりとして、各テーブルで職業分類表を使ったディスカッションを行いました。

「職業分類表」を見ながら、「この職業には、こういう人がいるよ」「この会社には、こういう方がいると聞いたことがある」といった形で、思いつく名前をどんどん挙げていただきました。

名前を挙げていくポイントは、

- 知り合いである必要はありません
- 声をかけられるかどうかに関係ありません
- 「聞いたことがある」「あの会社の社長さん」程度でOK
- 責任を持って勧誘する必要はありません

まずはロータリーに入っていない人材の“候補リスト”を作ることが目的。その後、増強委員会でリストを精査し、誰にアプローチできるかを検討していく予定です。

各テーブルで15分ほどディスカッションしていただき、会社名と氏名を紙に書き出して、回収後、増強委員会でまとめ、検討を行います。

また、今月26日の夜例会には、入会候補者を最低5名ほどお誘いいただければと思います。入会のお話をする必要はありません。「ロータリーの雰囲気一度味わいに来ませんか?」「ただ飯を食いに来ませんか?」そのくらいの軽い誘いで十分です。

